

み心がいつもなされますように BWV111

1725年1月25日初演

公現節3

マタイ8:1-13らい病人の治癒

ロマ12:17-21

基本コラール ブランデンブルグ辺境公アルブレヒト  
(1547年 作詞、1554年初版)

1

みこころがいつもなされますように  
み心こそよけれ、  
神は助けを惜しまず、  
かたく信じる者を助けられる。  
苦しみからたすけ  
懲らしめの時も  
かたく信じるものを  
神は見捨てない。

2 アリア バス

わが心おじ惑うな  
神は汝れを慰め  
励まし、命を生かす。  
そお、それが神が定めた賢い計画、  
されど世人はこれを総力で倒そうと抵抗するが、  
無駄である。

3. 朗唱 アルト

愚かものよ神より身を隠したヨナのように、  
神から逃れる者よ  
その思いは神に知られ  
神の毛の一つでも知られている。  
信仰により守られるものは  
み言葉を忍耐して仰ぎ望む。

4. 二重唱 アルト、テノール

されば雄々しく歩まん  
神が私を墓場に連れて行こうとも  
神は日々の私を書きとめ、  
み手のわざがなされる時、  
死のおそれはぬぐわれる。

5. 朗唱 ソプラノ

死の時に来て、  
わが霊が体から出ていくとき、  
私を受け入れたまえ。  
悪魔と罪が攻める時も、  
死の床が戦場になろうとしても  
信仰により勝たしめたまえ。  
幸い、望んできた終わりよ。

6. コラール 合唱

ただ一つを乞いねがう  
あなたは叶えられる。  
悪しき霊が迫るとき、恐れることはない。  
わたしを助け守りて、み名の榮譽により  
切なる祈りは叶えられる  
アーメン